

イチ企業で？
それとも地域を巻き込み、
越境活動を通して？



人は、人と関わる中で 磨かれる。

多様な繋がりが、従業員を育てる。企業の未来を支える。

かつて日本に存在した、 「見えない社会インフラ」

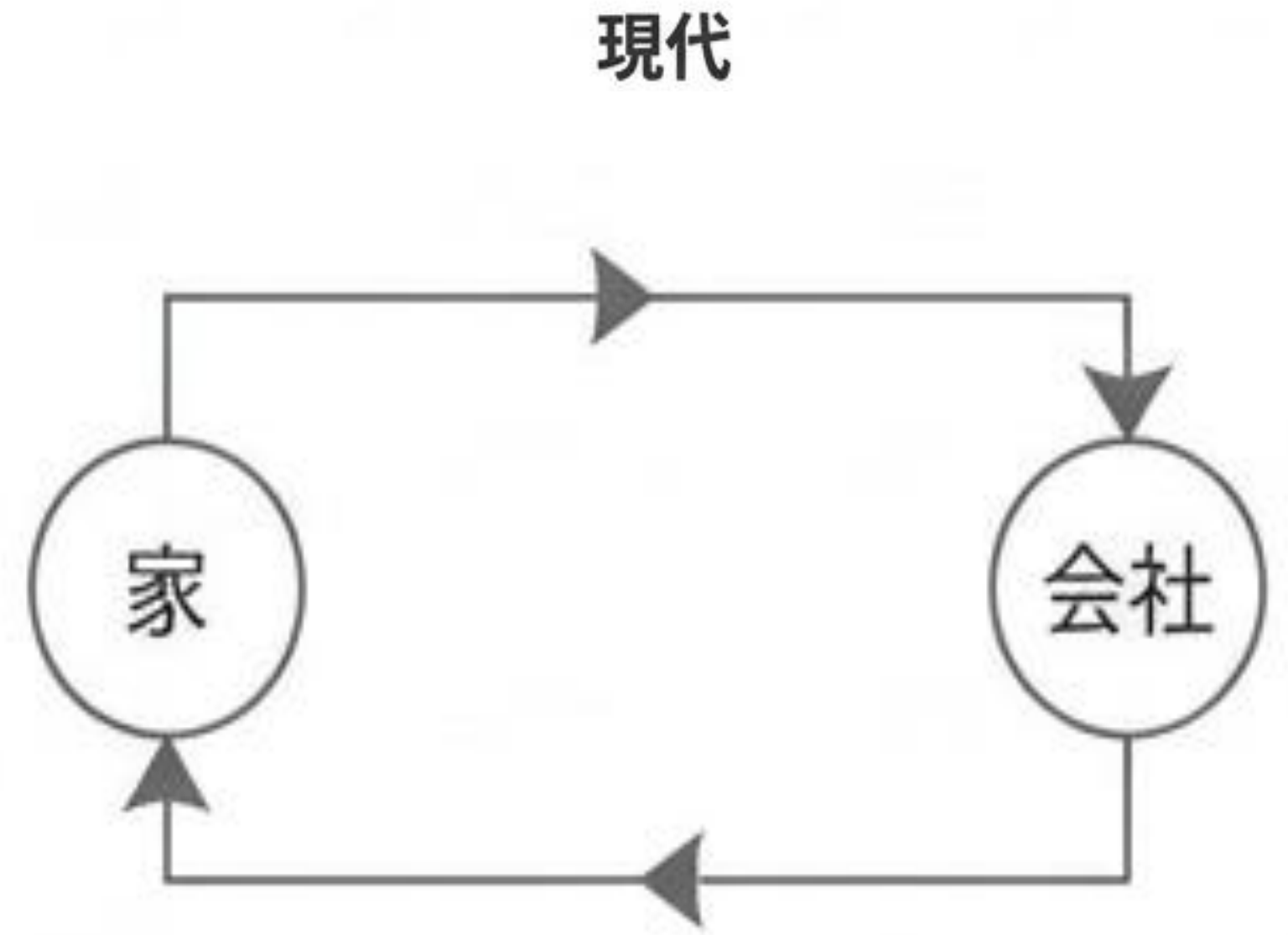
かつて私たちの日常には、
町内会や商店街、会社の仲間など、
「見えないけれど
確かに存在するコミュニティ」
がありました。

それは、人の成長を促し、
心と日常生活を支えるための重要な
「社会インフラ」として機能していました。



現代の構造的欠落：「家と会社の往復」という閉じた世界

現代では、この見えないインフラが静かに消え去りました。従業員の日常は「家と会社の往復」だけというケースも非常に多く、世代や業種を超えた人との関わりが激減しています。



見えないからこそ気づかなかった、重大な喪失

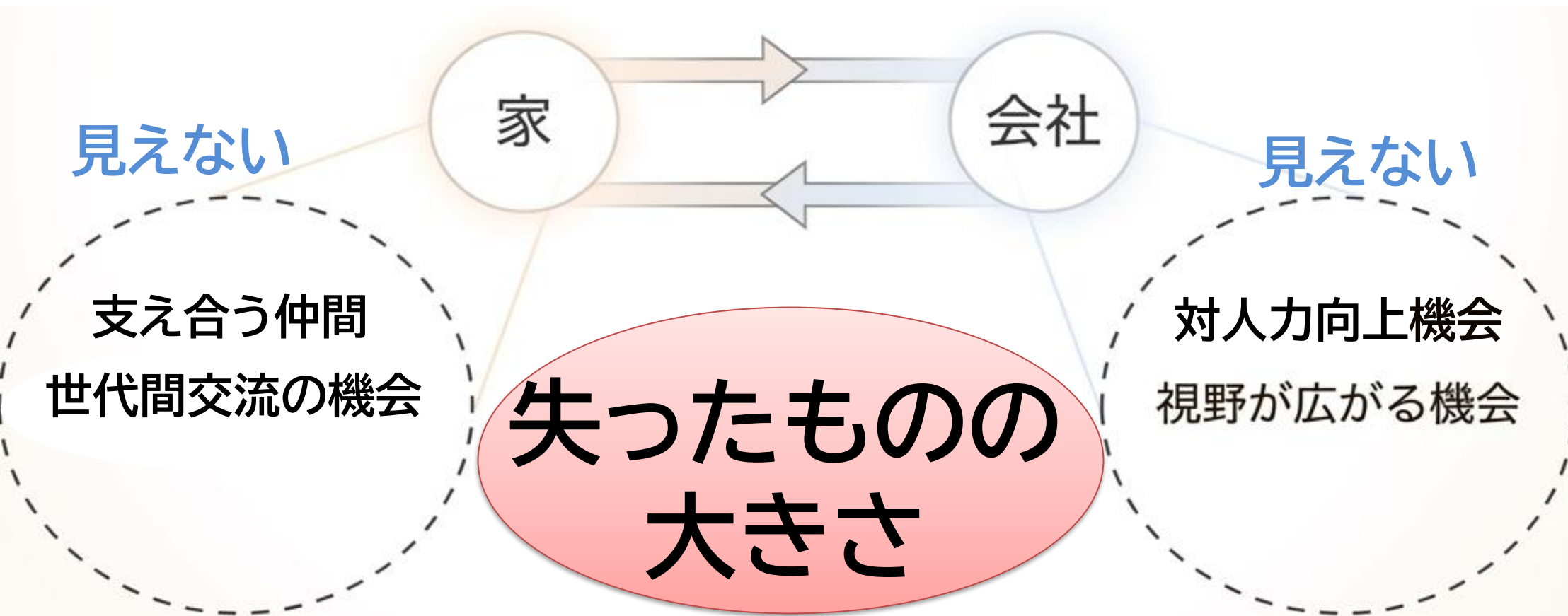
インフラは見えなかったからこそ、失ったことにも気づけなかった。
しかし、本当は非常に重要でした。



多様な価値観に触れる機会を失ったことで生じた「副作用」は、
従業員の成長停滞として企業に重くのしかかっています。

対人力を向上させ
世代間のコミュニケーション
を円滑にし、視野を広げる
持続的な方法はないだろうか。

自然な出会いがないかなあ。
子どもと関わる機会がないから、
子どもは興味がないな。



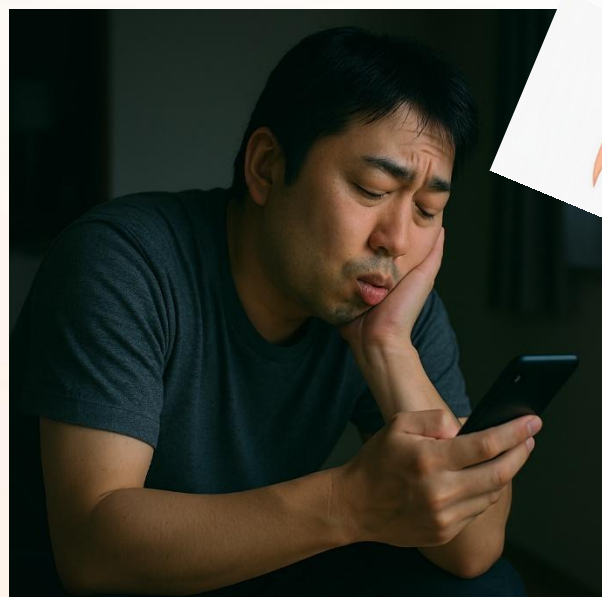
今こそ必要なのは、コミュニティの再生

「人が育ち合い、支え合う環境そのものを取り戻さなければならない」

私 はそう痛感し、この事業を立ち上げました。

多様な視点・価値観に触れるサードプレイスが、これからの企業成長の鍵を握ります。

コミュニティの
再生



コミュニティへの参加は 越境活動として、 従業員の成長エンジンに

多様な繋がりは、
日常的に成長意欲を掻き立てる
＜ガソリン＞となり、
同時に心を潤す＜水＞となります。

この両輪が、従業員の自立的な成長を
自然に育てるメカニズムです。



企業の未来を支える“継続的な成長インフラ”

サードプレイス提供型福利厚生ポータルサイト「らふっと」

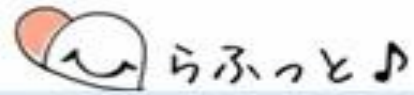
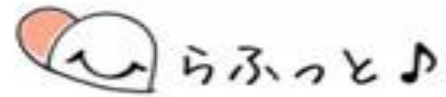
ゆるい繋がりが、従業員を育て、
企業の未来を強くします。

経済と幸福度
の両立！



「らふっと」は、失われた社会インフラを
企業が福利厚生として
再構築するための、新しい成長基盤です。

サードプレイス提供型福利厚生ポータルサイト 「らふっと」 ～ちょっと笑いに行く休日～



ただ、誰かと話したい。
ボランティア
恋愛・結婚
ボードゲーム
スポーツ
子育て
クリエイティブ
アウトドア
友だち作り
カラオケ
アウトドア
イベント

例:

サッカーサークル

カラオケサークル

大喜利サークル

お料理サークル

イラストサークル

初対面でも隣の人や

マスターと話せる、人との距離が近いBar

誰でもふらっといけるコミュニティハウス

アイドル活動サークル

地域盛り上げボランティア

世の中に溢れる
魅力的な
活動情報を掲載



企業を通じて
多くの社会人に届ける。

商品

らふっと

—ちょっと笑いに行く—

検索



中小企業の活力が、 日本の未来を創る

人と会う機会が増えることは、
従業員を育てるだけでなく
社会課題解決への第一歩となります。

中小企業は、日本の活力の心臓。
少子化対策は、日本の未来の生命線。
だからこそ、両方を同時に
改善していく必要があるのです。

少子化改善＜最初の種まき＞
と社会全体の活力

中小企業の活力向上

従業員の成長
(ゆるい繋がり)

日本の活力の心臓

日本の未来の生命線



**「愛とユーモアで
企業を元気に。日本を豊かに。」**

